

座・ガモールファーム 通信

Vol. 30 | 2025.06.01



テラスに植え付けたししとう。毎年この季節には多くの夏野菜の植え付けを行います。

夏に向けてガモール・ファームも衣替え。

深緑の季節

5月が終わり、暑いと感じる日も増えてきたように思います。ガモールファームは夏野菜の植え付けを行い、テラスの様子がガラッと変わりました。6月になると雨の日が多くなり憂鬱だという方も多いかも知れませんが、野菜にとってこの時期の雨は恵みの雨。たくさんの光と水で大きくなった野菜たちは夏になると多くの実をつけ始めます。

先日、毎年お世話になっている銀座ミツバチプロジェクトさんの屋上養蜂の見学をさせていただきました。銀座という都会のビルの屋上で養蜂をするというのはとても珍しく、毎年多くの見学者が訪れるそうです。また、古田先生曰くこの取り組みを見て、最初はテラスで養蜂をやりたいと思っていたとのことで、私たちの活動の原点でもあります。(山本)



紙パルプ会館屋上で行われている養蜂の様子

※本ニュースレターは、JST「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点活動の一環として発行しています。座・ガモールファーム通信のバックナンバーを含むプロジェクトの概要は右のQRコードからご覧ください。



今月の活動

キャンパス農園班

皆さんこんにちは、キャンパス農園班SPSの野沢奏です。春の陽気もいつの間にか過ぎ去り、梅雨の気配を感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。湿度が高まり、時折雨が降る日も増えてきましたが、そんな季節こそ植物にとっては恵みの時期でもあります。

さて、5月10日には埼玉校舎でポップコーンの作付けと、さやいんげん、にんにくの芽の収穫を行いました。今年から参加してくれた1年生たちがポップコーンの畝づくりに挑戦し、初めての農作業ながらも試行錯誤しながら頑張っていました。私も久しぶりに耕運機を使いましたが、やはり農作業の醍醐味を改めて感じる時間となりました。

また、巣鴨キャンパスでは夏野菜の作付けも行いました。7号館3階のテラスにはミニトマト、バジル、キュウリ、シントウ、パプリカ、ピーマンを植え、南門広場にはトウガラシ、さらに3号館1階の水耕栽培エリアにはシソを植えました。農園の植物たちがしっかりと日光を浴び、すくすくと育ってくれることを願っています。

さらに、6月7日・8日には、大正大学の学園祭「鴨台祭」が開催されます。キャンパス農園班では、例年通り大学内の隠れた農園をめぐるキャンパス農園ツアーを実施します。都市の中での農業の可能性を感じられる貴重な機会ですので、ぜひお時間のある方は7号館3階のテラスでツアーに参加してみてください。

蒸し暑い日が続きますので、皆様くれぐれも体調にはお気をつけください。水分補給をこまめに行いながら、健やかな日々をお過ごしください。それではまた、次号でお会いしましょう。



1年生に夏野菜の作付けをしてもらいました

座・ガモールファーム



毎年恒例のテラスでのさつまいもの植え付け

6月になりテラスには多くの夏野菜の苗が並びました。特にさつまいもの植え付けは活動が始まって以来の伝統行事です。このさつまいもは銀座ミツバチプロジェクトさんとの連携により「巣鴨芋人」という焼酎となり、商店街のマルシェや大学への寄付金の返礼品などとしても取り扱われています。また、収穫したさつまいもの大きさを競う「イモリンピック」という大会も行われており、こちらの入賞にも期待が高まります。

テラスには現在150ほどのプランターがあり、それぞれ季節に合った野菜が栽培されています。プランターでの栽培は管理しやすいという利点がある一方で、一般的な露地栽培と違い、土の全体量が少ないため環境による影響を受けやすいという課題もあります。そこで活用したいのがコンパニオンプランツです。これは互いに相性の良い野菜を密植させることで生育において相乗効果が得られるというもので、最近ではホームセンターなどでも一般的に使われるようになっていきます。有名なものでは、ネギやハーブ類を夏野菜と一緒に植えることで、害虫がつきづらくなったり、病気になりにくかったりというような効果が期待できます。ガモールファームでは現在ミニトマトを植え付けていますが、同じプランターにバジルを植えることでコンパニオンプランツとしての機能を持たせています。(山本)

詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

